

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期 「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」 分野間データ連携基盤技術



令和2年3月24日

内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付

ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術 開発体制図

- Ⅰ Society5.0の実現には、サイバー空間とフィジカル空間の相互連携システムが不可欠
- Ⅰ 本事業はサイバー空間の基盤技術の内、ヒューマン・インタラクション基盤技術、AI間連携基盤技術、**分野間データ連携基盤技術**の研究開発に加え、**のデータ連携基盤**の構築に資するためH30年度補正により **アーキテクチャ構築及び実証研究を実施。**

ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術
PD：安西 祐一郎（慶應義塾学事顧問）

推進委員会

ヒューマン・インタラクション基盤技術 サブPD：持丸 正明（産総研）
：人が行っていた認知・行動の高度スキルをAIが学習し、さまざまな領域で活用可能とする基盤技術を確立

AI間連携基盤技術 サブPD：鷺尾 隆（大阪大学）
：複数のAIによる自動的な協調・連携のための通信プロトコルや語彙、アルゴリズム等の技術を開発

分野間データ連携基盤技術 サブPD：越塚 登（東京大学）
：**分野を越えてデータを共有し利活用するための技術開発**

アーキテクチャ構築及び実証研究 サブPD：越塚 登（東京大学）
：ユースケース調査と実証研究結果から、分野間データ連携構築に資する分野ごとのアーキテクチャを構築

分野間データ連携基盤技術 開発概要

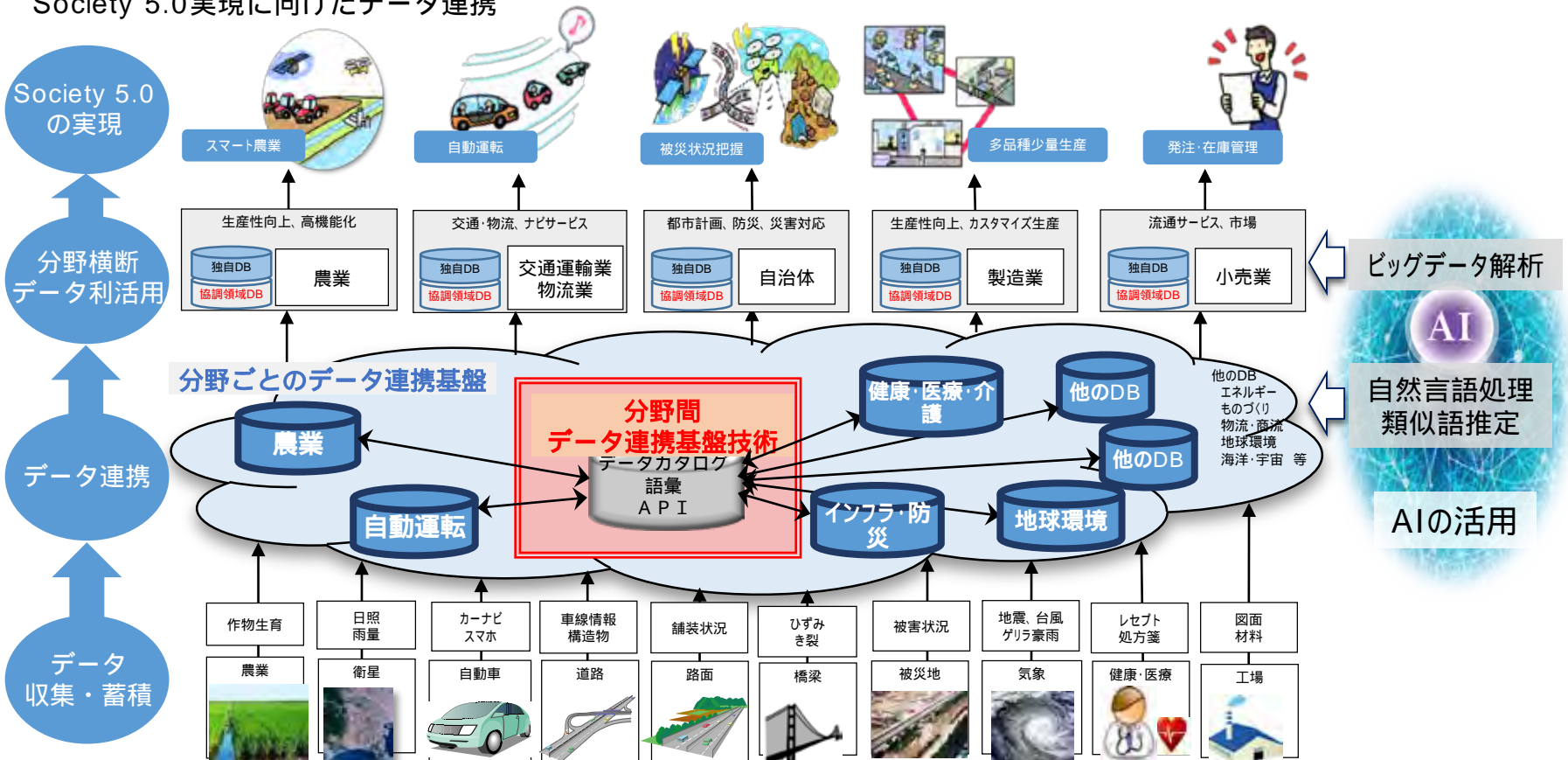
あらゆるデータが安全にAIで解析可能なレベルで利用するためのデータ連携基盤技術を構築。

オープン性 : 誰もがデータを提供でき、かつ欲しいデータを探して入手できるオープンなデータ流通環境

官民連携 : 官だけでなく、民だけでもない、官民が連携して構築

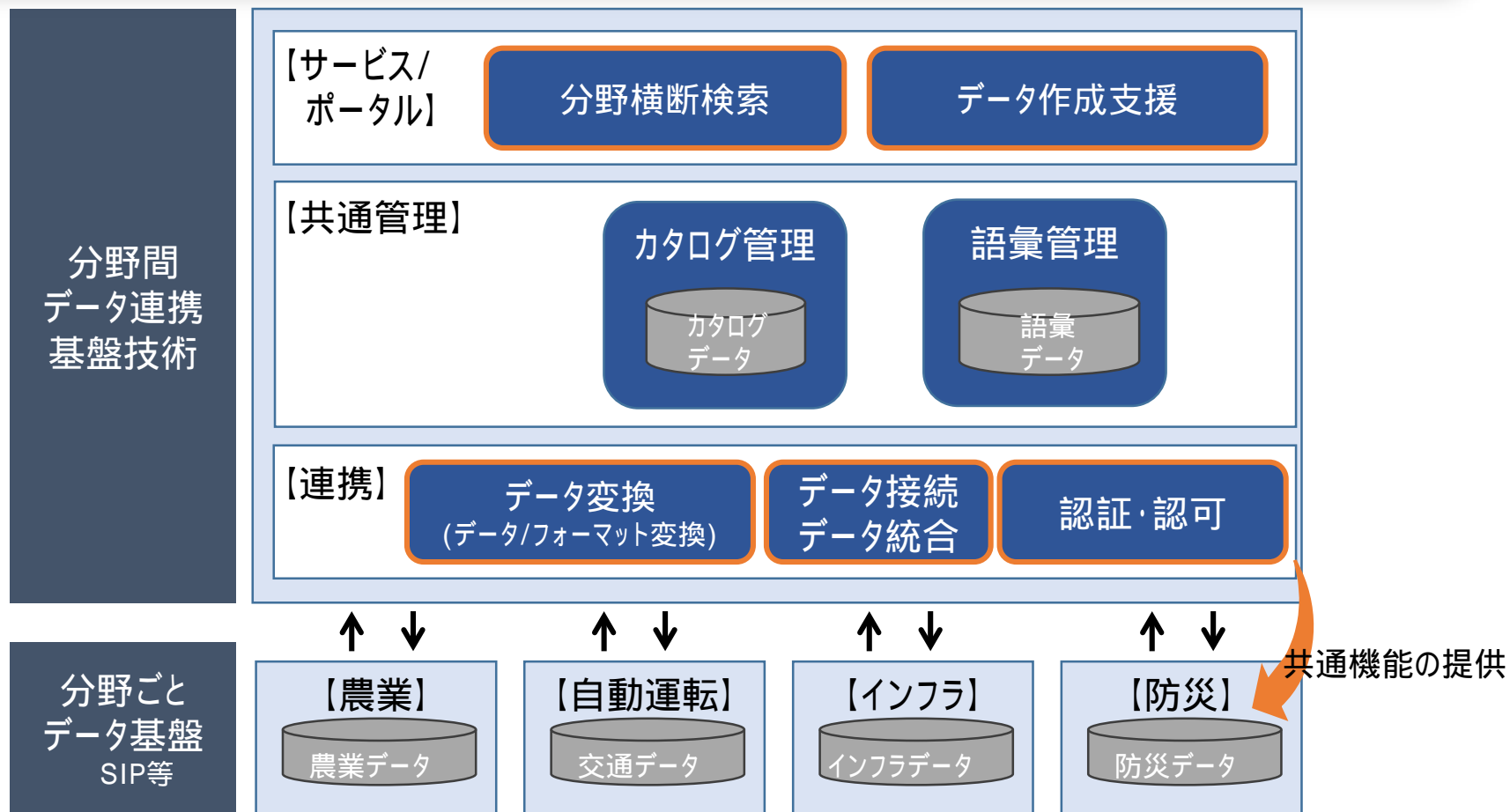
包括性 : あらゆる分野のデータ基盤を連携。国境を越えた連携も想定。

Society 5.0実現に向けたデータ連携



分野間データ連携基盤技術 開発内容

各分野データとの相互運用性を確保するため、分野横断検索、カタログや語彙管理、データ変換によるデータ連携機能等を開発し、有効性を検証する。



分野ごとのデータ連携基盤との相互運用性を確保しつつ、2022年度を目途に本格稼働